

コープやまぐち奨励賞 秋穂手話サークルしいのみ会

代表者 福江 康人（福祉分野／山口市）

活動の動機・目的

地域の人からの要請もあり、障がいのある人が地域でくらしやすく気軽に手話でお話ができるよう支援、孤立感の解消と未来のある子どもたちの障がい者への理解をめざす。

活動内容

①定例会（月2回）開催。

○会員で手話奉仕員（女性）の資格者が中心となり、勉強会を実施。構成員は男性2名（内聴覚障がい者1名）、女性6名。聴覚障がい者に日常使っている手話を習いながら、NHKのテキストを使って勉強している。

○耳の不自由な人が住んでいる地域の勉強会や、小学校から要望があった時の具体的な内容を話し合っ講習会に臨んでいる。

②小学校からの要請（秋穂小学校4年生の体験学習の一環として）があった時、耳の不自由な人の日常生活で困った事、不自由なことなどを手話を交えて話し、ユニバーサルデザインの勉強にも協力している（年1回）。

例えば玄関のチャイムの代わりに、ランプが点滅したり、病院での受付の配慮など。機材を借りてきて、実際に体験したり、手話であいさつや歌を一緒に行った。

③聴覚障がい者（現在2名）の住んでいる地域の住民に区長さんを通じて手話勉強会（毎月1回夜）を公民館で実施。10～15名の方が参加。地域の勉強会には他地域の方も4名参加されるようになり、輪が広がってきた。

④耳の不自由な人の生活や健康、災害時の避難方法、救急車の介助など、講習会と一緒に参加して通訳をし、地域の人と一体となって対応している。

⑤地域の行事（敬老会や防災講座等）の通訳。

これからめざしたいこと

小学校の体験学習で、子ども達一人ひとりが感想文を書いてくれて大変嬉しかった。「耳の不自由な人の大変さがわかり、やさしくしたい。」との感想が大半。地域で役に立っているという思いが実感できた。また、メンバーで資格をもっている人（77歳）に教えてもらえることで、仲間同士楽しく長く続けていくことができる。

課題は若い会員不足や財源不足。また、手話がまだ未熟な上、高齢なのでなかなか活動ができないのが現状。しかし、地域内で困っていることを聞いて力を貸してあげたいと思っている。

今後も障がい者の自立支援や未来ある子どもたちの障がい者に対する理解や偏見解消をめざして、少しずつだが進めていきたい。



地域での手話勉強会



手話体験学習
（小学4年生対象）